



第46号

# 福岡貿易会情報誌 福貿ニュース

## 新年あけましておめでとうございます



公益社団法人 福岡貿易会  
会長 土屋 直知



福岡市長  
高島 宗一郎



新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、日頃より会の運営・発展にご理解とご支援を賜り心から感謝申し上げます。

昨年は保護主義政策を強める米国と中国との貿易摩擦が深刻化し、世界的に景気の先行きが懸念される1年となりました。そうした中で日本を含む11カ国による経済連携協定CPTPPが年末に発効し、人口5億人、貿易総額5兆ドルという巨大な自由貿易圏が誕生しました。本年2月にはそれを上回る規模の日EU・EPAが発効します。中国経済の減速、英国のEU離脱など海外情勢はリスク要因を抱えていますが、この相次ぐ巨大経済圏の誕生は我が国そして九州の地域経済・産業にとってもグローバル化が進む好機になると期待しております。

今年は平成が終わり新たな元号が始まる節目の年となります。九州・福岡では6月にG20蔵相会合が、9月にはラグビーW杯が開催され、世界の国々から多くの人々が訪れます。一方で消費税の増税を秋に控え、AI、フィンテック、IoT技術の進展などにより既存ビジネスの変革も一層求められる年となると思われれます。当会としては昨年始めた会員交流会勉強会を活用し会員間の連携を促進するとともに、情報提供やグローバル人材育成支援にも力を入れていく所存です。会員の皆様方には引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が皆様にとって充実した良い年になりなすよう祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

新年あけましておめでとうございます。

福岡貿易会におかれましては、日ごろより福岡市の貿易振興及び地域経済の発展に多大なるご貢献をいただき、心から感謝申し上げます。

今、福岡市は成長の真っ只中にいます。第3次産業が9割を占める福岡市は、人を呼び込むことで経済が活性化することから、観光振興や国際会議の誘致に力を入れてきました。その結果、クルーズ船の寄港回数が4年連続で日本一となるなど観光客が増加し、年間2,000万人以上の方が福岡市を訪れるようになりました。企業立地や創業も進み、都市経済の成長により政令指定都市で唯一、市税収入が5年連続過去最高を更新し続けています。

福岡市は今年で市制130周年を迎えますが、この節目の年に、世界最高峰の国際会議「G20福岡財務大臣・中央銀行総裁会議」が開催されます。これは世界に「福岡」を発信し、福岡市がさらに成長していくチャンスだと考えており、これに関連した経済イベント等も企画しております。皆様とも一丸となり、オール福岡で大成功を取りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

今年も、「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」を目指し、そして、未来の日本のロールモデルとなるよう、福岡を次のステージに飛躍させるためのチャレンジ「FUKUOKA NEXT」を市民・企業の皆様とともに進めてまいりますので、福岡貿易会の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。





## 福岡貿易会創立60周年記念講演会・会員交流会開催

昨年末12月3日（月）にソラリア西鉄ホテルにて福岡貿易会創立60周年記念年末講演会・会員交流会を開催しました。第一部の講演会では、老荘思想研究家で㈱イメージプラン代表取締役社長の田口佳史氏を講師にお招きし『大転換期を乗り越える新たな視点と経営』と題して講話を頂きました。「日本の地理的特性」「見えないものを見る」「徳とは何か」を踏まえ、ビジネスパーソンが今後の指針とすべき企業観について提言を頂き、集まった約150名の参加者皆さん熱心に聞き入っていました。

第二部の会員交流会には会員、行政・関係機関・外国公館の皆様多数にご参加を頂きました。福岡県小川知事、福岡市貞刈副市長より来賓挨拶を頂き、九州経済産業局渡部国際部長の乾杯ご発声により交流会がスタート。和やかに参加者同士懇親を深める中、新入会員11名のご紹介や昨年11月に弊会が受賞した環黄海経済・技術交流大賞について矢幡理事からご披露賜りました。会員、関係各位の皆様のおかげで60周年を記念する交流会を盛大に開催することができましたこと厚くお礼申し上げます。



講師：田口先生によるご講演



土屋会長ご挨拶



来賓挨拶：福岡県小川知事



来賓挨拶：福岡市貞刈副市長



乾杯ご発声：九経局渡部国際部長



新規入会会員紹介



## 福岡貿易会が「環黄海経済・技術交流大賞」を受賞

昨年11月20日、韓国・群山市で開催された第17回環黄海経済・技術交流会議において、福岡貿易会は「第4回環黄海経済・技術交流大賞」を受賞致しました。本大賞は黄海沿岸地域である九州・中国・韓国の政府・経済団体が貿易や投資、技術交流を深化・拡大させ、開かれた環黄海経済圏の形成を目的としており、当会が中韓両国と早くから経済交流に取り

組み、地場中小企業の環黄海地域を含む海外への展開支援を行ってきたことを評価頂いたものです。授賞式には当会を代表して矢幡理事が出席され、表彰状と記念盾を受領しました。今回の受賞は会員の皆様からの長きに渡るご支援の賜であり、あらためてお礼を申し上げます。



## 2018年九州経済界「一带一路」訪中団レポート 甲斐 敏洋



2013年、習近平国家主席が提唱した巨大経済圏構想「一带一路」が今年で5年目を迎えた。2018年10月、日中友好条約締結40周年を記念して日中首脳会談が開催され、安倍首相は「競争から協調へ」「第3国での共同開発」等を表明した。福岡では「一带一路」の現状視察のために、九州中資企業協会主催・在福岡中国総領事館後援による「九州経済界一带一路訪中団」が派遣された。

同訪中団は、今年10月28日から11月2日の日程で、中国の陝西省西安市と江蘇省太倉港と連雲港を訪問した。福岡貿易会専務理事・甲斐を団長、九経連・平井常務理事を顧問とし、訪問メンバーはメーカーでは安川電機・花王・日立金属・正興電機、物流企業では日通・山九、経済団体では九経連・福貿会から構成された。

今回訪中団の目的は、一つに日・EUとのEPA締結により増加が期待される日欧間物流において、これまでの海上輸送航空輸送に加え鉄道輸送の可能性を検討すること、二つに「一带一路」において九州として何が取り込めるか、何がやれるのかを探る事であった。

一带一路については賛否両論あるが、何時ものことながら、今回も隣国中国の経済発展の「スピード」と「規模感」には驚かされるばかりである。日本としてはどう活用するか真剣に考えなくてはならないと思う。



連雲港市 呉副市長との会談

### 1.九州から最も近い港・連雲港

連雲港は中国沿岸の中央に位置し、連雲港からは日本へ9つの航路、韓国へは8つ航路が定期運航している。連雲港では日本、韓国からユーラシアランドブリッジを利用した鉄道での輸送を20年以上おこなっており、自動車部品を中央アジア・ウズベキスタンに、タイヤをキルギスタンに運ぶ等車の部品などの貨物が増えてきている。

今回連雲港では中国とカザフスタン両国で運営する港湾施設・港湾ターミナル（連雲港中哈国際物流有限公司、カザフスタンとの合弁の鉄道会社）コントロールセンターと連雲港で最大の企業である城建控股集団が新しく開発を進めている港湾地区の開発状況の視察を行った。



中欧班列「長安号」



国際港務区



太倉港位置図

その後連雲港市政府との意見交換、連雲港市・呉副市長を表敬訪問し、夕刻の晩餐会は大いに賑わった。

### 2. 中欧鉄道の結節点・西安

西安は昔長安と呼ばれ、奈良・京都は長安を模して造られたことは衆知のとおりで、日本・博多とは非常になじみの深い都市であり、日本人が世界で行ってみたい都市の一つである。しかし西安は特別市ではあるものの、改革開放では沿岸部の諸都市の発展に後れを取ってきたが、近年西部地区開発により、航空事業、製菓事業、自動車部品製造業、情報産業等が発達してきている。

また西安は中国の中央に位置することから海、空、鉄道、高速道路により総合的な海外との物流の窓口とすべく、幅広く物流を育ててきている。西安では中国(陝西)自由貿易試験区、西安国際港務区(西安鉄道コンテナ輸送センター)、西安経済技術開発区他を訪問した。

国際港務区は2009年より開発され、海、空、鉄道、高速道路により総合的な海外との物流の窓口としている。鉄道網は西安より7ルートの鉄道網がある。その内訳はヨーロッパへは3本(所要日数16-18日間)、中央アジアへは2本(同10日)、ロシアへは1本(同18日間)、イランへは1本(同16日間)。年間合計で1,000本の列車を運行。今年は明日(10/30)で1,000本に達する。

貨物列車の本数及び運搬量は全国でトップ。中国国内には西安の他に重慶、武漢、鄭州、成都といった都市に鉄道基地が発達してきている。今後自由貿易試験区と鉄道駅・施設との連動が期待される。自由貿易試験区への海外からの企業集約に期待。また、他には海外から電子、デジタル産業が移転してきている。又西安経済技術開発区を視察したがドイツ企業の進出が目立っていた。

### 3. 江蘇省最大の太倉港について

太倉港は江蘇省の入江の中で最大の港で揚子江の入口に位置している。太倉港は明の時代、コロンブスの新大陸発見に先立ち、7回にわたった東南アジアへアフリカまでの鄭和による大船団が出発した港である。

太倉市は上海と隣接しており45分で虹橋空港、1時間程度で浦東空港まで行くことが可能。上海から鉄道(太倉市内に駅が3つある)および高速道路が開通している。人口104万人、ドイツとの交流が盛んでありドイツから300社が進出している。総合保税區の中では太倉太境通供供应链管理有限(ネット通販会社)が稼働していた。



## 福岡貿易会60周年記念事業 一帯一路セミナー

『日・EUとのEPA・経済連携協定』後の新市場は？～飛躍的に伸びる一帯一路物流、どう活用する？～

九州では初めてといえる「一帯一路」の概要と背景、5年目を迎えた一帯一路をどう活用していくかをテーマにしたセミナーを福貿会60周年記念事業として昨年11月28日に開催した。当会より九州経済界一帯一路訪中団の視察報告と一帯一路の概要・背景について、ジェットロより日EU・EPA協定締結による新しい

ビジネス、貿易物流の創出について、また日本通運(株)と中国欧州鉄道の鍵を握るカザフ鉄道からは鉄道輸送の実情とその取組みについて、それぞれの立場から最新の情報が提供された。聴講者は定員の100名を超え、一帯一路物流への関心の高さが伺えた。



「来賓挨拶」  
在福岡中華人民共和国  
総領事館 何総領事



「一帯一路の現状報告」  
福岡貿易会  
甲斐専務理事



「日EU・EPAの活用」  
ジェットロ海外調査部  
田中欧州ロシアCIS課長



「中国欧州間鉄道輸送」  
日本通運(株)海外事業本部  
犬井企画部長



「カザフ鉄道の活用」  
カザフ鉄道・香港法人  
サケノフ代表

## 2018年度「福貿グローバル塾」開催

～番外編では塾生がタイ市場に挑む！～

福岡から世界・アジアで活躍できる人材を育成することを目的に例年開催している「福貿グローバル塾」。2018年度は海外販路開拓実践編として、J-Tech Transfer & Trading代表の小島尚貴氏を講師に招き、実際に海外で売りたい商品をお持ちの企業に参加頂いて、4月から9月にかけて全6回で行った。

講師小島氏からは、失敗する海外展開の要素を自社製品から取り除き、相手から買いたいと言わせる、価値を落とさず高く売る、長く売るためのポイントなど、毎回テーマを変えて講義頂いた。特に海外バイヤーが求めている情報が何か、どうすればより興味を引けるか、動画活用の有効性について、ご自身が運営する海外向け販売サイト「J-Tube」の例も交えてアドバイスを頂いた。そして当塾で学んだことを実際に試す場として、小島氏の人脉を通じてタイ・バンコクの食品関係企業との商談会を番外編という形で実施する運びとなり、タイ国際航空のご協力のもと昨年12月17日から20日の日程でバンコクを訪問した。参加した塾生はフルーツゼリー製造の(株)マルミツサンヨー専務社長、抹茶製品を取扱う西福製茶(株)西社長と(有)フーディウムトクナガ徳永取締役の3名。このほか現地ではバンコク事情に詳しい(株)ユウシテムの入江社長とタイ国際航空の泉屋氏に案内役として参加頂いた。今回のタイ訪問で特徴的だったのは事前準備に大きく時間を割いたこと。小島氏のアドバイスをもとに商品サンプルや製品情報、利益計算できる情報を事前に訪問先に送り、相手と情報共有した中で商談が行えるようにした。EMSで送ったサンプルがタイ税関で止められるというハプニングもあったが、各人とも年末の忙しい中でできる限りの準備を行い商談に望んだ。

### 商談先① タイバエ・インターナショナル社

同社は魚等の缶詰加工から発展して現在では様々な食品、野菜、果物等とその加工品の輸出入を手がける企業。訪問時は事前準備が奏功して即具体的な話へ。タイバエ社側からも自社新商品を紹介されるなど商談は双方向に進んだ。昼食を挟んで午後と一緒に市場調査に。プレミアム食材を扱うサイアムパラゴン、高級スーパーのセントラル、庶民派のビッグCなどを回り、競合商品や売り場の状況、価格設定などをチェック。代表のピバチャイ氏には夜の交流会まで丸一日お付き合い頂いた。



タイバエ社での商談風景

### 商談先② マツチャズキ社

社名のとおり抹茶に精通し、抹茶商品（主にデザート）の企画販売を手がける企業。ここでも事前準備のおかげでスムーズに商談が進んだ。代表のティラパット氏は昨年福岡インターナショナル・ギフトショーのバイヤーとして来福し、当会の総会交流会にも出席。九州には様々な食材があることを知り興味を持っているとのことと好意的に接して頂き、塾生も説明に熱が入った。

この他にも現地では様々な人との交流があり良い刺激を受けた。商談はまだ始まったばかりだが非常にいいスタートが切れており、成果に繋がることを期待したい。

## オーストラリア・ニュージーランド 経済ミッション報告

経済成長と人口増加が著しい上に住みやすさの面でも世界的な評価を得ているオーストラリア、そして近年新技術のスタートアップが盛んで世界で最もビジネスしやすい国と言われるニュージーランド。福岡貿易会では創立60周年記念事業として11月13日から23日の日程で、土屋団長以下総勢24名で両国に経済ミッションを派遣した。

### 1. 豪州シドニー

11月13日夜、福岡から台北経由で豪州に向け出発。翌14日昼シドニー到着後、ダーリングハーバーのコンベンションゾーンと親水空間を視察し、夕方から現地日系企業4社との意見交換会に臨んだ。農業分野、物流、都市開発、住宅関連の各分野の現地事情を伺ったが、各社共に豪州市場の成長ぶりに魅力を感じ、事業拡大のチャンスと見ている。その後シドニー最大の再開発が行われているバラナグラー地区と一緒に視察した。近未来デザインビルが建ち、すでに注目を集めるスポットになっている。地下鉄工事も含めて再開発事業完了の2024年には都市の形が様変わりするだろう。現在シドニーの人口は約500万人。2050年には800万人に達すると言われている。翌日は市内中心部のビール工場跡地の再開発現場を視察したが、経済情勢を反映して各所で開発需要が旺盛な状況が伺えた。



開発が進むシドニー・バラナグラー地区

### 2. 豪州メルボルン

メルボルンから東へ170kmの地点にあるラトロープバレーは褐炭の産地。褐炭とは若い石炭のことで自然発火しやすく輸送が困難のため、従来採掘地でしか利用されてこなかった。この褐炭から水素を取り出して日本へ運ぼうというのが日豪国家間で進める「褐炭水素サプライチェーン・プロジェクト」である。我々は11月16日朝から現地を視察した。現地では川崎重工(株)ほか日系4社と豪州の電力会社AGLエナジーがコンソーシアムを組み商用化実証を進めている。計画ではラトロープバレーのロイヤル発電所敷地内に水素製造プラントを設置し、ここからメルボルン南東のヘイスティングス港へ水素ガスを陸上輸送する。同港の液化貯留プラントで水素ガスを超低温で液化させ、専用運搬船で日本へ運ぼうというもの。東京オリンピック開催の2020年度に技術実証する予定で進められている。豪州政府では同時にCO<sub>2</sub>を豪州東海岸沖合に埋めるCCSプロジェクトを進めており、組み合わせることでCO<sub>2</sub>フリーの水素ができることになる。水素社会到来が間近に迫っていることを実感した。当日夜は、在メルボルン日本国総領事館主催の交流会にお招き頂き、川田首席領事より総領事館の取組みを伺ったほか、豪州三井物産CEOで元在福岡豪州総領事のウェンディ・ホルデルソン氏をはじめ現地企業との交流を図った。



日豪褐炭水素プロジェクトが進む豪州ラトロープバレー

メルボルンには3日間滞在したが、歴史的建造物と近代建築とが融合した美しく見どころの多い街であった。市内中心部ではトラムが無料で乗り放題という大胆な政策がとられており、これも世界一住みやすい都市と言われる由縁である。

### 3. NZオークランド

11月19日、ジェットロ・オークランドの奥所長にNZ経済情勢に関するブリーフィングを受けた後、オークランド市のスタートアップ支援の拠点「Grid AKL」を訪ねた。現在3施設に130社のベンチャー・中小企業が入居し、オークランド観光イベント経済開発局 (ATEED) がビジネス・サポート・プログラムを提供している。近隣には、IBM、MicrosoftなどIT関連大手が立地して一体的にイノベーション地区を形成しており、オークランドをアジア太平洋地域のイノベーションハブにしようと市が本腰入れて取り組んでいる様子が見えた。



Grid AKLにて

午後からは拡張現実と仮想現実の技術やサービスを開発する企業のための研究開発スペース「AR/VRガレージ」を訪ねた。施設内には撮影スタジオや音響ブース、プレゼン用のデモブースなどの機能を備え、ゲーム開発、画像・映画製作などのスタートアップが入居している。ショッピングや食事などを疑似体験しながらその国の言葉を学ぶVR言語学習ソフトや地下に埋もれた配管やケーブルの敷設状況を視覚化するアプリなどの説明を受けたが、これらの商用化が進めば従来の仕事のやり方、日常生活までが大きく変わっていくだろうと感じた。



AR/VRガレージ 入居企業の事業紹介

夕方からは、経済界の2国間協議の場である「日NZ経済人会議」の歓迎レセプションに出席した。NZ側からはイアン・ケネディ委員長（元駐日大使）、オークランド市のフィル・ゴフ市長他が出席。開会スピーチでは両氏ともに当会の出席に触れ、歓迎の言葉を頂いた。日NZそれぞれビジネスパーソンとの交流を果たし、有意義な会となった。





キウイ選果場の作業風景



農園ではIoTを導入して苗を育成していた



悪天候から一転、翌日好天気に恵まれたクイーンズタウン

#### 4. NZタウランガ

11月20日は二班に分かれ、一班はNZを代表する輸出品であるキウイフルーツの販路拡大の取組等を調査する目的で、北島中部タウランガにあるゼスプリ・インターナショナル本社を訪問した。同社はNZの輸出向けキウイを独占的に扱う企業で、市場調査、研究開発、品質基準の管理などを行っている。キウイの収穫期は3月末から4月頃。日本では夏以降でもゼスプリキウイが食べられるが、これはキウイを冷蔵保管して出荷時期をずらして北半球の市場に投入しているため。同社では北半球での生産拠点を増やし、完全に通年で供給できる体制作りを進めており、日本でも愛媛県と宮崎県でゼスプリ認可のキウイ作りが始まっている。

このほか生産者から持ち込まれたキウイの選果や出荷作業を行う選果業者とキウイ農園を訪問した。生産現場では最新技術による省力化が進んでいる一方で、まだ人海戦術に頼らざるを得ない部分があり生産者の苦勞も見えた。

その後オークランド空港で団員全員が合流し、次の視察地、南島クイーンズタウンに向かったのだが、悪天候で飛行機が着陸できず引き返す事態となった。オークランド空港に戻ってきたのは夜9時頃。すでに市内ホテルの空きがなく、全員空港で一夜を過ごすという貴重な体験をした。これは当会始まって以来のことだろう。

翌朝7時の振替便で再びクイーンズタウンへ。不安を余所にあっさり到着し、そこには昨夜の疲れが吹き飛ぶ絶景が待っていた。急な事態にも冷静に対応頂いた団員の皆様と迅速に動いてもらった西鉄旅行(株)の皆様には心から感謝申し上げたい。

今回経済ミッションでは、豪州では主に都心部の開発状況を、NZではスタートアップ支援が盛んな状況を中心に視察した。移民受入に積極的で人口増加が続き、対中・対アジア経済への依存が高まっていることなど両国の共通事項は多い。それぞれ現地ビジネスパーソンとの交流機会を多数設けて話を伺ったが総括して両国経済、まだまだ成長が続く勢いを感じた。

#### 1. 食と自動車は広州にあり

外務省によると、平成29年10月1日現在、広州の邦人数は7,396人。中国の都市では、上海、北京に次いで3番目に多い。中国の都市別GDPでも、2017年に深圳に抜かれるまでは、上海、北京に次ぐ第3位のポジションを維持してきた。市域面積は熊本県と同程度だが、人口は既に九州8県とほぼ同じ1,450万人。40年前の友好都市締結時には福岡市の35分の1程度だった経済規模。00年代前半に福岡市を抜き去り、この10年で福岡市の5倍以上の規模になった。これは、九州全体の4分の3の規模に相当する。今や世界第2位の経済力を誇る中国における巨大都市・広州。そう、広州市は現在、世界レベルのメガシティなのである。

そんな広州を紹介する時、最も有名なフレーズは「食は広州にあり」という言葉である。広州市は広東省の省都であり、中国八大料理の一つである広東料理の総本山として位置づけられる。広東料理の特徴は食材が豊富などところにある。後述するが広州は昔から対外貿易の拠点として栄えてきた。広州には世界各地の食材や香辛料が集まってきていた。広東料理の料理人は、その素材の味を引き出すために腕を振るう。更に華僑や香港を通じて、広東料理は世界中に広がり、最も馴染みのある中華料理となった。例えば、日本でも有名な「飲茶」は広東料理の飲食文化の一つ。焼売、お粥、エビ餃子など「飲茶」で提供される料理が広東料理のイメージである。料理の種類が豊富で、とにかくハズレがない。しかも、ご当地で食べる広東料理は、広東以外で食べる広東料理と全く次元が異なる。広州市民の平均消費支出は中国トップである。市民は稼いだお金を美味しいものに費やすのだ。結果、広州の飲食業界は発達し、切磋琢磨の果てに突出した高いレベルに成長することになる。私自身、今まで合計3年間を広州で過ごしたが、食に関して

は正に何不自由ない暮らしであった。そんな広州だが、現地駐在の日本人は自動車業界の方が多い。広州には、トヨタ、日産、ホンダという日本の自動車三大メーカーが工場を置いている。自動車生産台数も広東省は中国でトップ。当然、サプライヤー企業や物流企業など関連企業も多く立地する。したがって、日本のビジネスマンにとって、広州は「自動車の都市」もしくは「製造業の都市」というイメージが根強い。そもそも、広東省というエリアは、香港、マカオという特殊なエリアを抱えている省である。比較的閉鎖的な中国市場と比べて、香港、マカオはその成り立ちからも自由度の高い都市である。香港の「自由貿易」、マカオの「IR(統合型リゾート)」はそれを象徴している。貿易手続きが簡単な香港から部品をいれると、小口多品種でも楽に輸入ができる。そこから深圳を経由して広州周辺にある工場に運ぶ。工場で組み立て加工を行い、完成品を世界と中国国内に流通させる。それがこのエリアが行ってきた発展モデルだ。

この中で、広州はこの経済圏と中国国内とをつなぐ役割も担っている。中国国内から調達される部品は、広州の卸売市場や交易会などで取引され、広東の工場に運ばれる。工場で完成した製品は、広州を通じて中国全域に運ばれていく。人の移動も同じである。90年代に問題になった「盲流」と呼ばれる農民の出稼ぎにおいても、人々は職を求めてとりあえず広州に流れてきていた。技術と資本とヒトとモノ、そして一国二制度という極めて特殊な環境が重なり、このエリアは「世界の工場」と呼ばれるサプライチェーンを構築した。そして、その中に日本の多くの企業も組み込まれているのである。

#### 2. だけじゃない広州

さて、以上の内容は、比較的よく聞く広州の紹介である。数年前ならこの説明で充分だっただろう。しかし、近年、このエリアで新しい経済圏構想が生まれている。「広東・香港・マカオ・ビクベイエリア」と呼ばれている経済圏構想である。これは、広東省の広州や深圳などを中心とする都市と香港、マカオを加えたエリアで一大経済圏を築く構想である。これを進めるため、昨年、香港と広州をつなぐ高速鉄道が開通し、香港—広州間が最短47分につながれた。さらに、香港とマカオ・珠海をつなぐ55キロの大橋も完成した。こうしたことにより、域内の移動時間が大幅に削減されることになる。ヒトやモノの移動が更に促されることにより、更に期待されているのがイノベーションである。「世界の工場」のサプライチェーンは、多種多様な部品の供給を可能にしている。アイデアさえあれば、必要な部品が揃い、すぐに商品化ができるのだ。そうすると、意欲のある人々が集い、アイデアを生み出していく仕掛けをすることで、イノベーションが加速していく。最近、深圳が注目を集めているが、それにはこうした背景がある。そして、その深圳と同様のポテンシャルを広州も持っているのである。その変化は、広州市政府の人と話していても如実に現れてくる。かつては工場誘致やハード建設の話が中心であったが、最近ではソフトやコンテンツ、サービスの話に関心が移っているように感じる。中国のメガシティは、既に第3次産業の育成に主戦場を移しており、広州も当然もその波の真ただち中にある。それはつまり、単純に商品やサービスを作って売るのでなく、そこに如何にして付加価値をつけていくかという競争に移行していること

を意味する。都市という箱の中により良いものを詰め、消費者を引き付けること。それが発展の持続可能性を担保していく事になる。では、中国の消費者が求めるものはどこにあるのだろうか？その答えの一端は、日本への中国人観光客のニュースの中にある。中国人観光客は日本に来て、概ね良い印象を抱いて帰ることが多い。日本の商品やサービスは高評価だ。つまり、彼らの消費の志向が、日本が長年培ってきたものに近づいてきたことを意味している。しかし、それをそのまま中国に持って行って成功するほど中国市場は簡単ではない。日本企業は中国で事業展開する際、日本製や日本式にこだわる人が多い。すると、コストがかかり、単価が飛びぬけて高い店舗になってしまう。よほどブランディングが上手くないと集客に苦勞することになる。本来なら中国製でコストをおさえ、デザインやコンセプトなどコンテンツで勝負していくことが上策だろう。ところがそのためには、中国人の消費者心理を理解し、中国のサプライヤーとつながり、中国人向けの適切なブランディング戦略を練れる人材が必要となる。残念ながら、そこまでできる日本人の中国人材は多くない。そうなるとうどうなるのか？中国企業の側が自らブランディングを高めていく方向に舵を切る。日本人や外国人のデザイナーを雇ってきて自らの製品に付加価値を加えていくことになるのだ。

今、広州では、こうしたお洒落なコンセプトのブランドが続々誕生している。最近広州で流行っている店舗の写真を掲載してみるが、上手く伝わるだろうか。広州では、上述した通り、世界のアパレルメーカーが製造を委託しているような工場が周辺に無数にある。自らのアイデアとデザインで委託する側にまわれば、すぐに優れたオリジナル商品を生み出せる。これも広州が強みとするイノベーションの一種だ。無責任ながら断言するが、恐らくあと数年したら、中国発のブランドショップが日本に進出するようになる。それくらいレベルが高くなっている。そうすると次は、中国発の先端ショップやアイテムを発掘して日本で代理権を握る、というビジネスチャンスが生まれてくる。好き嫌いでも、良し悪しでもなく、ビジネスはそういうものだろう。実は、アパレル以外でも広州発のビジネスは、既に日本の中に入り込んでいる。若者を中心に昨年大ヒットしたオンラインゲーム「荒野行動」を配信している「網易 (NET EASE)」は広州の企業だ。同社が手掛けるECサイトは越境ECでトップシェアを誇っている。また、電子決済などで知名度が高まった中国最大手のSNSである「微信 (We Chat)」の本部も広州にある。中国3大ECモールの一つに数えられる「唯品会 (VIP SHOP)」も広州の企業だ。広州で彼らの巨大なビルを見上げていると、彼らのサービスを日本式に転換して導入することでチャンスを手にする日本企業も沢山いるのだろうと思ひ至る。



広州発のブランド「O.C.E」

#### 福貿会 60周年記念寄稿-3

### 四十にして惑わず—広州

元福岡貿易会上海事務所 所長 奥田 聖



現在の広州市

広州市を知っている市民の割合は47.7%。これは平成30年度の福岡市市政アンケート調査の結果である。福岡市と広州市は今年、友好都市締結40周年を迎える。正直に感想を言うと、この数字は比較的健闘していると思う。日本の他都市でも市民の半数が広州を知っているだろうか。やはりそこは40年の歴史の積み重ねの結果だと考えたい。だが、私は40周年を機にこの割合を更に高くしたいと思っている。しかも、今まで語られてきたような広州の話ではなく、今の広州の姿をできるだけ多くの人に知ってもらいたいと思っている。40年間の交流の積み重ねは、一つのプライスレスな価値として輝きを増している。そこには、未来を拓くチャンスが眠っていると思えるのだ。連載の最後となる今回は、そんな広州について話をしてみたいと思う。



中国企業の日本進出には抵抗感もあるが、打ち寄せる波を押し返せるほどの革新性を日本企業が持っているか、自分でも確信が持てない。これが次の時代のビジネスの形というのなら、せめてそこで福岡の企業が活躍してほしいと願うばかりである。



福岡・広州  
友好都市調印式  
(1979.5.2)

### 3. 福岡と広州

広州市は、古くから貿易の街として栄え、中国の玄関口であった。日本の玄関口として栄えた博多の歴史と共通点がある。広州で扱う交易は主に東南アジアやインド、ヨーロッパ方面である。しかし、それが災いし19世紀にアヘンが大量に密輸されてくる。これを焼却処分し、戦争になったのが「アヘン戦争」である。1842年の南京条約では、広州がそれまで独占した貿易を開放され、中国の5港が開港。広州商人から離れて自由に貿易を行うため、広州に近い香港はイギリスに割譲された。このような経緯で、広州は近代史において重要なポジションを担うようになる。その広州を拠点に活動した革命家が「孫文」である。孫文は、広州の隣にある中山市で生まれた。マカオで医師をしていた孫文は、祖国の現状に憂い、広州で武装蜂起を試みる。しかし、密告により失敗し、日本へ亡命する。彼を支援していた人物の中に梅谷庄吉(長崎)や宮崎滔天(熊本)がいた。その宮崎滔天が孫文を紹介したのは元福岡藩士を中心に結成された政治団体・玄洋社の総裁・頭山満だった。頭山は玄洋社や彼の人脈を通じて、孫文の活動と生活を支えた。炭鉱を経営していた平岡浩太郎や、安川電機の創業者である安川敬一郎などもその一人である。西郷隆盛の西南戦争の影響を大きく受けていた当時の九州では、時代を憂えた熱い人間が多かったのかもしれない。孫文の活動は、こうした九州を中心とした日本人の支援を受け、1911年に清王朝を打ち倒す辛亥革命へとつながっていく。

孫文は、その後袁世凱に政権を迫られ、志半ばで世を去る。玄洋社も戦後、GHQから右翼団体として解散を命令された。その時、最後の社長を務めていたのが、玄洋社創立メンバーの一人、進藤喜平太の4男である進藤一馬だった。進藤一馬は、その後1972年に福岡市長に就任する。ニクソンショックをきっかけとして世界と中国の関係が180度転換していく70年代という時代だった。そんな中、鄧小平が打ち出した改革開放により、福岡市も1979年に中国の都市と友好都市を締結することになる。その相手となった都市は孫文と因縁深い広州市だった。そこには、進藤一馬自身の想いもあったはずだと、当時担当をしていた市職員は語る。進藤一馬の父やその仲間たちと苦楽を共にし、同じ夢を見た孫文。福岡市の友好都市の相手を考えた時、恐らくそうした想いが胸に去来した事だろう。

1979年5月2日に福岡で友好都市の締結を行った際、広州市側の代表は楊尚昆だった。楊尚昆は後に国家主席も務めるなど、中国の現代史に名前を残す大人物だ。彼

はどんたくのパレードに参加した際、パンダの着ぐるみをきた福岡市民を目にする。そこで翌年、広州市動物園のパンダ2頭を福岡市動物園に2カ月レンタルすることを決めた。パンダが上野動物園にしかない時代である。福岡では空前のパンダブームが沸き起こった。この時、パンダを見に行った記憶がある福岡市民も多いのではないだろうか？進藤一馬は、その返礼に広州にある越秀公園にジェットコースターを寄贈することにする。1981年に完成したジェットコースターは、中国で最初のジェットコースターとなった。広州で、このジェットコースターに乗った記憶がある人も多い。その後も、多くの福岡市民が広州を訪れ、広州市民が福岡を訪れた。多くの出会いが生まれ、多くの友好の記憶が積み重なっていく。明治維新に乗り遅れ独自の活動で時代を支えた元福岡藩士の熱い想い。祖国の現状を憂い新たな中国建国を夢見た孫文の熱い想い。両者の結びつきは、福岡市と広州市を友好都市としてつなぎ、今も両市の人々の交流を生み出す礎になっているのだ。



広州代表団  
博多どんたくに参加  
(1979年)

そして今年、福岡市と広州市は友好都市締結40周年を迎える。個人的な話で恐縮だが、実は、私は今年から広州市へ長期派遣される。広州との経済交流を促進させるため、福岡市職員として現地でサポートや調整を行うことになっている。上述したように広州市の経済規模は、この40年間で大きく成長した。水が高いところから低いところへと流れを変えるように、ビジネスは政治や思想、個人の好き嫌いを越えて自然と変化を続ける。40周年には、この時にしかできないチャンスがあるはずだ。連載初回で語ったように、博多は大陸から入ってくる新たな物や文化をいち早く取り入れ、日本へと広げていく役割を担っていた。博多商人は変化を受入れ、そこからビジネスを生み出してきたのだ。また、同じく広州はインドやヨーロッパから文明が流れてくる窓口になっていた。気質は同じだ。その両者を元福岡藩士と孫文が繋げた。私は一人で広州に渡るが、決して一人ではない。福岡にも広州にも、志を同じくする多くの仲間が今も沢山存在することを知っているからだ。米中関係も、日中関係も、世界情勢も景気の変動も、現在も未来の情勢は不明瞭である。だが、時代の変化を経ても脈々とつながり続ける絆は、きっと先代達が残してくれた地域の宝なのだと思います。今年40周年。四十にして惑わず。多くの人が見つないできた宝を、私は惑わず次の時代に引き継いでいきたいと思っている。そしてそれは、地域の多様性を担保し、地域の独自性や国際感覚の育成につながっていくと信じている。

これをお読みの方の中で、広州との経済交流に興味をお持ちの方がいたら是非とも現地の私にお声かけをいただきたい。もしかしたら、福岡と広州が見つないできたものが、何らかの形でビジネスに役立つかもしれない。そして、そのビジネスは、また次の時代のつながりを生むかもしれないのだ…。

## 福岡貿易会アドバイザーリレーコラム

## わかりやすいワンポイント 貿易アドバイス

### 「群れる会社」と「組む会社」

J-Tech Transfer and Trading 小島 尚貴



#### ■ 魚は二種類のグループを作る

私は海釣りが好きです。下手の横好きのため、釣れない時間も長く、その間に海を眺めながら海中の魚の生態を想像し、仕事や貿易につながる大切な気付きを多く得てきました。

魚にはヒラメやサメのように単独行動を好む魚と、アジやイワシのように集団行動を好む魚とがあり、海中で美しい群れが悠々と泳ぐ様子は、テレビやダイビングを通じて誰もが見たことがある光景でしょう。集団行動型の魚には「群れる魚」と「組む魚」の二種類がいます。どちらも集まっている点は同じですが、集まり方をよく観察すると二つのグループ構成基準が見えてきます。それは、

群れる = 悩みと不安でつながる

組む = 強みと目標でつながる

の二つです。

群れる魚の例をイワシとします。イワシの群れは鯨ほど大きいのに、その群れは敵に遭遇した途端に四散し、群れの数匹は敵に食われてしまいます。群れの反応や行動を見ていると、不安や恐怖という群集心理が作用しているようです。一匹では非力なイワシは、群れることで自分を大きく見せ、また、自分が食べられるリスクを軽減しているのかもしれない。

一方、組む魚の例をシャチとしましょう。(今回はシャチが哺乳類であることは問わない)。シャチは少数精鋭の集団で狩りを行い、一匹はエサの群れを追い立て、一匹は群れを疲れさせ、一匹は群れを海面に追い詰めて退路を断たせ、一匹は群れの正面に突然現れて群れを離散させるというふうに、全員が目標達成のために役割を分担します。少数でも各自が持ち場で全体の目標に奉仕することで、大きな成果を掴み取ります。

#### ■ 海外で成功したいなら群れずに組もう

近年は福岡でも海外展開を目指す企業が増え、昔では考えられなかったほど様々な団体やセミナーを

見かけるようになりました。多言語を駆使して世界各地に中小企業の製品を輸出する仕事上、私も様々な集まりに顔を出すようになりましたが、地場企業の集まりにも、群れる集団と組む集団の差があると感じています。群れる企業とは「少子高齢化、人口減少、市場縮小で大変だ」と自社の不安から集まり、とりあえず売れそうならどの国のどの企業でも良いと安易に海外市場に頼ろうとする企業のことです。一方、組む企業とは、市場と顧客を明確に想定し、A社は製造、B社は販売、C社は分析というふうに、目標達成のための工程と役割を認識し、持ち場で全力を尽くす企業のことです。

群れる企業にとっての事業とは「自社及び地元の問題を解決して地域を活性化させること」であり、相手不在の行動原理はイワシと同じです。組む企業にとっての事業とは相手の問題解決であり、地域活性化は顧客に貢献した見返りに過ぎません。イワシにとって大事なのは悩みをともにする友人と同じ群れに属し、同じ行動をしているかどうかで、シャチにとって大事なのは、獲物をしっかりと捕まえられるかどうかです。そして福岡にも、目標も持たずに「とりあえず海外」、「とりあえずセミナー」、「とりあえず展示会」と、雰囲気任せで情性的に海外を目指す企業は少なくないと感じています。

人口減少と売上の低迷に悩む日本企業を救うために海外市場が存在しているのではなく、世界で未解決の問題を解決するために日本企業が存在しているのです。イワシの相談は「うちの製品、どこかの国の企業が買ってくれませんか？」で始まり、シャチの相談は「この国のこの層に、この製品でこう切り込みたい」で始まります。弊社の経験では、輸出の成否は製品の良し悪しより、経営者の態度がイワシかシャチのどちらかで決まると感じています。完成図を見てこそパズルのピースの位置が分かるように、世界の諸問題をつぶさに観察、分析した時、福岡・九州の企業の強みと組むべき相手が見えてきます。そして、小さな会社でも、基準を変えればシャチのような強者になれるものです。事例を知りたい方は福貿会でお会いしましょう。





## セミナー等開催報告

### オーストラリア・ニュージーランド経済セミナー

<日時> 10月25日(木) 15:00~16:00  
 <場所> 福岡貿易会事務所  
 <内容> オーストラリアの経済情勢等について  
 在福岡オーストラリア総領事館商務官 加藤 裕久氏  
 ニュージーランドの経済情勢等について  
 西日本鉄道(株)国際物流事業本部営業企画部 営業企画課次長 中山 聡司氏



### 海外進出企業をとり巻く5つのリスク

<日時> 12月6日(木) 14:00~16:00  
 <場所> 福岡商工会議所2階 第2研修室  
 <講師> 三井住友海上火災保険(株)営業推進部課長 長嶺 尚子氏

**参加者のことば**  
 輸出取引では海上貨物保険だけでなくPLや信用保険の活用、また出張者・駐在員リスク対策も非常に重要だと勉強になりました。内容も実務的で良かったです。



### トルコへの投資、その環境とビジネスチャンス

<日時> 12月6日(木) 15:00~16:30  
 <場所> 福岡商工会議所ビル4階 404-405会議室  
 <講師> トルコ共和国大統領府投資局シニアアドバイザー 青木 雄一氏  
 <内容> トルコにおける海外投資受入れの現状と投資優遇制度などの投資環境、ビジネスチャンス、外交・セキュリティー状況等



### 国際ビジネス税務 入門セミナー

<日時> 12月11日(火) 18:30~20:00  
 <場所> 福岡貿易会事務所  
 <講師> 法師山康成税理士事務所代表 法師山 康成氏  
 <内容> 国際税務の領域としくみ、個人が海外勤務をする場合の課税関係、製品を輸出入する場合の課税関係



### ビジネス英会話講座中級編

<日時> 9月6日~12月13日 毎週木曜日19:00~20:30 全15回  
 <場所> 福岡貿易会事務所  
 <講師> シーモア イングリッシュ アカデミー 代表 Mr. Anthony Seymour  
 <内容> 外航貨物保険の基礎、リスクマネジメント、事故発生時の対応

**参加者のことば**  
 普通のレッスンと違い、考えながら英語だけで話したり聞いたりするので、頭の中に残り易かった。  
 より自然な表現など、テキストの内容以上のことを教えていただけたので、とても良かったです。



### 2年目の中国語会話(後期)

<日時> 9月12日~12月19日 毎週水曜日19:00~20:30 全15回  
 <場所> 福岡貿易会事務所  
 <講師> 中国語教室一語学EIWA 代表 李 岩氏

**参加者のことば**  
 わかりやすい。毎回わからない部分がない。  
 文法、会話、単語など毎回取り入れてバランスが良い。



## 新会員の紹介

### 株式会社シンクロディスティニ 福岡支店

代表者: 志岐 匡子  
 所在地: 福岡市博多区美野島3丁目6番24号  
 TEL: 092-477-2100 FAX: 092-477-2101  
 MAIL: synchrodestiny1018@gmail.com

**主要業務:**  
 ・経営コンサルタント  
 ・主にタイ製品の化粧品・雑貨・食品を輸入  
 ・日本製のドッグフードをタイ・中国等に輸出  
 ・輸出に関する手続き代行



### 当社の特色:

2018年6月から新規事業として輸出入業を始めたばかりです。歴史は浅く、規模は小さい会社ですが、小さな商社を意識しながら「自然に逆らわない」をモットーに、自分の感性に合った良品を国内外に紹介しています。化粧品は、タイ王国内閣科学技術省監督下のNIAより有機産業技術イノベーションに認定された日本初輸入製品です。またドッグフードは、製造方法と保存法にこだわった生肉50%以上の手作りに近い製品です。



### 安永公認会計士・税理士・米国税理士事務所(認定支援機関)

代表者: 安永 聖観  
 所在地: 福岡市早良区次郎丸3丁目地下鉄次郎丸駅近く  
 TEL: 092-982-5836 FAX: 092-303-6983  
 MAIL: seikan.yasunaga@outlook.jp  
 URL: https://www.yasunaga-cpa.com/

**主要業務:**  
 ・国際税務関係 ・外国人所得税申告  
 ・英文財務諸表作成  
 ・M&A支援 (財務DD, 税務DD)  
 ・上場準備支援 ・内部統制構築支援



### 当社の特色:

【Main business】International Tax / Income Tax Return for Foreigners/ Preparation of Financial Statements/ Support for Merger and Acquisition/ Support for Initial Public Offering/ Support for Creation of Internal Controls  
 外国との取引が発生した場合、必ずといっていいほど難解な会計・税務の問題が発生します。当事務所は日本企業の外国進出への懸け橋となり、ビジネスがスムーズになるための潤滑油のような役目を担います。

### 株式会社 MACRO JAPAN

代表者: 代表取締役 名嶋 伸幸  
 所在地: 福岡県八女郡広川町大字藤田1515-1  
 TEL: 0943-24-8741 FAX: 0943-24-8841  
 MAIL: info@carstudio-network.com  
 URL: http://www.carstudio-network.com

**主要業務:**  
 ・カー用品 (ヘッドライト・テールランプ・フォグランプ・バンパー、フォグランプ等の商品開発販売)  
 ・バイク用品 (ハーレーダビッドソンのヘッドライト・テールランプ・メッキパーツの商品開発販売)  
 ・OEM

### 当社の特色:

H14年に個人事業として輸入業をスタート。海外の工場でオリジナル製品を製造し、日本国内のカー用品向けに販売を行っております。主な取引先国は、中国広州、台湾、タイで金型から生産し製品化、自社ブランドとしての展開も行っております。日本国内の他業種からのOEM生産も行っております。

### 法師山康成税理士事務所

代表者: 法師山 康成  
 所在地: 福岡市博多区博多駅東2-5-19サンライズ第3ビル5F  
 TEL: 092-686-8557 FAX: 092-686-8501  
 MAIL: hoshiyama@mirai-sozo.biz  
 URL: http://www.mirai-sozo.biz/

**主要業務:**  
 ・国内税務会計  
 ・国際税務会計  
 ・外資系企業の対日投資支援  
 ・海外進出支援  
 ・現場改善コンサルティング (5S, TQM)

### 当社の特色:

私たちは英語と中国語対応で海外に目を向けた税理士事務所です。外資系企業のクライアントを有していますので国際税務も取り扱っています。昨年末に貿易会様のご協力で開催させていただきました「国際ビジネス税務入門セミナー」では、開催後直ちに弊社からお問い合わせ頂戴し、皆様の国際税務への関心の高さを実感しました。また、製造業を中心に5SやTQMなどの現場改善と管理会計を融合した結果にこだわるコンサルティングも行っています。詳しくはFacebook「現場改善倶楽部」で情報発信しておりますのでご覧くださいませ。



### カノン行政書士法務事務所 (行政書士技能実習サポートセンター)

代表者: 代表・野中 友裕  
 所在地: 福岡市西区下山門1-14-3-502  
 TEL: 092-882-2431 FAX: 092-882-7267  
 MAIL: n-consult@canon-legal.com  
 URL: https://www.canon-legal.com/ https://www.ginou-jissyyuu.com/

**主要業務:**  
 ・外国人技能実習生受け入れに関するコンサルティング業務  
 ・外国人技能実習生受け入れのための許認可等手続  
 ・外国人在留資格に関する入国管理局等への各種申請手続  
 ・事業協同組合設立  
 ・会社設立

### 当社の特色:

当所は、外国人受け入れに係る行政手続等に特化した行政書士事務所です。いわゆる「高度人材」と言われる通常の在留資格は勿論のこと、福岡県の行政書士でもあまりない、「技能実習」に関する業務を得意分野としております。ご存知のように、今年4月からは「特定技能」と呼ばれる新しい在留資格が誕生することとなり、外国人材の活用がにわかに注目を集めている中、我々も、業務を通じて皆様のお役に立てることを楽しみにしております。



### 株式会社辻利茶舗

代表者: 代表取締役 辻 史郎  
 所在地: 〒802-0006 北九州市小倉北区魚町3-2-19  
 TEL: 093-521-6514 FAX: 093-522-1291  
 MAIL: white@tsujiri.co.jp  
 URL: http://www.tsujiri.co.jp

**主要業務:**  
 スタンスはローカル、ビジョンはグローバル  
 国内で日本茶販売や日本茶カフェを運営しながらも2010年からは海外に着手。現地資本と提携しながら世界に日本茶を敷衍せんと地元を重んじながらも海外を見据え展開、邁進中です。

### 当社の特色:

弊社は創業を江戸寛延元年(1860年)に遡ります。開祖辻利右衛門は玉露の製法を確立させ、明治大量物流時代を前に内側にブリキを貼った茶箱を考案、更に幕末で将軍家の庇護を失った宇治茶園を私財を投じて再開墾したことで、世界遺産平等院の正門横に銅像を建立される誉を受けました。私たちは辻利右衛門が伝統を重んじながらも諸々の改革を行ったように、Tradition & innovationを念頭に挑戦し続けております。





Hi there! How goes your business? Great?

貿易 / 海外事業展開等で英語を使い仕事をする上では「高いlistening力」が必要。字幕なしで海外のドラマや映画が分かる力があれば良いです。皆さんは如何ですか? 海外側発言内容が完全に分からぬと商談が上手く進みません。「Listening力」UPのコツを開示し稽古します。海外人が実際に話す速度は学校や各種英語講座での発話速度よりも早いです。今回は「基本編1」です:

1) 相手発言中【キャン】と強い目に聞こえたら、「出来ない(can't)」と云っています。対して、「can」は弱い音で「カン/クン」と聞こえます。

「can't」の「n't」は本人は云ってる積りですが、n't音が息に変わり、この音が消えて日本人には分かりません: ですからキャンはキャンと成り、同様に hasn't や isn't もそのn't音は聞こえません。ハズン・イズンと成ります

a [We can do that]: 音/ウィカンドゥーザ (ツ)

b [We can't do that]: 音/ウィキャンドゥーザ (ツ)

「出来ない」/「出来ない」の聞き違いは大きな誤解になりますよね。Plz be careful about this!

2) 「オンナツ」/「インナツ」と聞こえてきたら、其々[on that]・[in that]の音。nの発音は舌を口内上部壁に強く当てる為に強目です。th音が続きますと、n音がth音を吸収、th音が「ナ行」音に変わります:a [Turn on that]はターンオンザットでなく「ターンノンナツt」と聞こえます。b [アイ・グリー/オンナツ]は (I agree on that.) といった音になります。

3) ここで、agreeの「a」音が消えてしまいます。単語がaから始まる場合で、aに強勢がない場合は、このaが日本人にはa(軽いアの音)が聞こえません。故に I agree on that.の前半は「アイグリー」と聞こえます。I agreeでなくて、何かその様な単語があると?と思う程です。

※ against / along / accept他の単語類は冒頭のa音が必ず消えて、聞こえてしまいます。

a [イズンナツ・ゲインスト /the rules?]カナの箇所は掴めます? Isn't that against the rules?です。Isn't thatは [n't]が消えて[イズン]となり、Isnの次のthがn音に吸収され「イズンナツ」。更にagainstの[a]が消え「ゲインスト」と変化。

b [イツ the プライス・セブタボウ to you?]>

これは [Is the price acceptable to you?] です。よく発言されるセリフと思います/この価格は貴社にはOKですか?との意味内容です。[acceptable]のaアが消えてしまいます。

※acceptableは[ce]に強勢(アクセント)を置きますから、[ce]部分は強く発生しますが、その他の母音は弱くなり、特に冒頭のaが日本人の耳には消音に成ります。

4) 【Tom isn't フリユウストビィ】←宿題:

↑の下線部がこのカナの様に聞こえる場合、さて何と発言しているのでしょうか?次回迄にお考え下さい。英語が得意な方はお判りです。 ※英語セリフ130題聴取る練習ができる当社サイトを紹介します。ご覧下さい。http://fukuoka.shoplog.jp/niten/37137.html

各英語セリフを1回聴いて何て云っているか?聴き取れるか?皆様試してみてください。当社では英語リスニング力を高める企業研修を実施中です。レベルに合わせて色々な音源を用いて繰り返し練習をしています。貴社にてご希望があれば試しに実施します。遠慮なく小職迄お知らせ下さい。Thanks for reading.「聴き取り」を含め英語全般の質問は当社:yhntnen14k@yahoo.co.jpへどうぞ!

## 福岡貿易会からのお知らせ

### 今後開催予定のセミナー

※予定につき変更の場合があります。会員以外の方の受講も可能です。

#### ○ 貿易保険&海外与信管理入門セミナー

【日 時】 2月14日(木) 14:00 ~ 16:30

【会 場】 福岡商工会議所ビル2階 第2研修室

【内 容】 「貿易保険について」

日本貿易保険大阪支店営業グループ調査役 斉藤 健佑 氏

「海外与信管理入門(中国・ASEAN)」

(株)クレディセイフ企業情報 代表取締役 牧野 和彦 氏

【受講料】 無料

#### ○ 英文契約書入門講座

【日 時】 2月20日(水) 9:30 ~ 16:30

【会 場】 福岡商工会議所ビル2階 第2研修室

【講 師】 中矢一虎法務事務所(司法書士 行政書士)

代表取締役 中矢 一虎 氏

【内 容】 越境EC(国際ネット販売) ビジネスを利用した英文契約(注文と注文請)、安定した貿易を行う為の契約特定条件、日本語で学ぶ英文契約書の一般条件、絶対に見逃せない簡単な英文契約単語と考え方

【受講料】 各講座 福岡貿易会会員: ¥4,000 / 非会員: ¥8,000

#### ○ 貿易実務に役立つ通関知識基礎 生産者・輸出者等による

TPPの自己証明・原産地証明文書作成とは

【日 時】 2月21日(木) 9:30 ~ 16:30

【会 場】 福岡商工会議所ビル2階 第2研修室

【講 師】 中矢一虎法務事務所(司法書士 行政書士)

代表取締役 中矢 一虎 氏

【内 容】 関税定率表(日本)別表、EPA/TPPと海外販売戦略、外国の自由貿易協定、新しい日本の通関システムとATAカルネ、貿易にかかる基本的な税の仕組み

【受講料】 福岡貿易会会員: ¥4,000 / 非会員: ¥8,000

#### ○ 税関セミナー

【日 時】 3月7日(木) 14:00 ~ 16:30

【会 場】 福岡商工会議所ビル 402-403会議室

【内 容】 「最近の税関行政について」

門司税関博多税関支署支署長 児玉 竜太郎 氏

「平成31年度関税改正の概要について」

門司税関福岡空港税関支署統括審査官(通関総括部門)

梶原 秀一 氏

「関税評価について」

門司税関業務部 関税評価官 山口 裕之 氏

【受講料】 無料

#### <夜間講座>

##### ○ 通じる中国語会話(発音攻略編)

【日 時】 1月23日~3月13日 毎週水曜日 19:00 ~ 20:30 全8回

【会 場】 福岡貿易会事務所

【講 師】 中国語教室 語学EIWA 代表 李 岩 氏

【内 容】 正確な四声、ピン音で、且つ速い速度で話せるようになることを目標に繰り返し練習する。

【受講料】 福岡貿易会会員 : ¥14,000 / 非会員: ¥21,000

##### ○ ビジネス英会話上級編

【日 時】 1月24日~3月14日 毎週木曜日 19:00 ~ 20:30 全8回

【会 場】 福岡貿易会事務所

【講 師】 Seymour English Academy

代表 Mr. Anthony Seymour

【内 容】 様々なビジネスシーンで自分の考えを英語で相手に伝え、効果的なプレゼン・交渉を行う。

【受講料】 福岡貿易会会員: ¥16,000 / 非会員: ¥24,000

●発行/ 公益社団法人福岡貿易会

☎812-0011 福岡市博多区博多駅前二丁目9番28号7階

☎ 092 (452) 0707

FAX 092 (452) 0700

●発行日/平成31年1月31日

●印刷/株式会社西日本高速印刷

